

名桜大逆転で初優勝

仲田杯ハンド

ハンドボールの仲田豊順杯争奪第18回沖繩クラブトーナメント最終日は20日、具志頭社会体育館で各部の決勝を行い、男子は名桜大学があらかき歯科に21-15で逆転勝ちして初優勝した。女子はザ・テラスホテルズがレキオクラブを16-11で制した。

マスタートスは興南OB、マスタートス50sはコザクラブOBが優勝した。

▽男子決勝

名桜大 21(9-7) 15 あらかき歯科 12(8-8) 15

▽女子決勝

ザ・テラスホテルズ 16(9-5) 11 レキオクラブ 7(6-6) 11

▽マスタートス決勝

興南OB 13(5-6) 11 系満OB 8(5-5) 11

▽マスタートス50s決勝

コザクラブ 18(9-7) 15 沖繩教員会 9(8-8) 15



男子優勝の名桜大学 (提供)



女子優勝のザ・テラスホテルズ (提供)

守備を修正 主導権奪還

試合開始11分で、男名主主導権を奪い返した。桜大は4点のビハインドを背負った。ここでタイムアウトを要求すると、明けた直後の守りから相手のミス誘発して7連続得点で8-5と逆転。10分以上あらかき歯科に何もさせず、

男子決勝 名桜大学 18-15 あらかき歯科 9-8

後半、サイドからシュートを放つ名桜大の比嘉麻人(具志頭社会体育館(我喜屋あかね撮影))

試合開始11分で、男名主主導権を奪い返した。桜大は4点のビハインドを背負った。ここでタイムアウトを要求すると、明けた直後の守りから相手のミス誘発して7連続得点で8-5と逆転。10分以上あらかき歯科に何もさせず、

男子決勝 名桜大学 18-15 あらかき歯科 9-8

後半、サイドからシュートを放つ名桜大の比嘉麻人(具志頭社会体育館(我喜屋あかね撮影))

試合開始11分で、男名主主導権を奪い返した。桜大は4点のビハインドを背負った。ここでタイムアウトを要求すると、明けた直後の守りから相手のミス誘発して7連続得点で8-5と逆転。10分以上あらかき歯科に何もさせず、

女子決勝は日本リーグ参入を目指すザ・テラスホテルズが一度もリードを譲らずに頂点に立った。高良政幸監督は15点以内に抑えた守備には及第点を与えたが、攻撃面では「回数が多いが得点につながらなかった」と首をひねった。

リード開始 頂点に立つ

とをちゃんと言っていないと。1対1で攻めるのか、パスでつなぐのか、攻撃での意思統一を課題に挙げた。チーム結成当初に立てた目標は「日本選手権で日本リーグのチームと当たること」。本番まで2カ月を切った中、主将の田口舞は「次につなげられる。意味のある大会だったとうなずき、得られた全ての経験を糧に成長し続ける。」



女子決勝 ザ・テラスホテルズ-レキオクラブ 前半、シュートを決めるザ・テラスホテルズの内藤結貴